

# 太陽光発電取り組み強化

## 公共・産業部門にも展開

NIPPOは、太陽光発電事業の取り組みを一段と強化する。これまでターゲットにしてきた二戸建て住宅に加え、集合住宅や公共・産業部門にも対象を及び、舗装会社としての豊富な土木技術やマンションなどで培った建築工事のノウハウを活用しながら事業を展開する。多様な営業メニューの一つとして工場の外構工事とセットで売り込むなど、同社の特色を生かしていく考えだ。12年度には太陽光発電の全量買い取り制度が始まることを控えた11年度は、前年度実績の3倍以上とする販売計画を立てている。

て、環境面での企業の社会的責任(CSR)も果たせるようにしていく考えだ。

### NIPPO

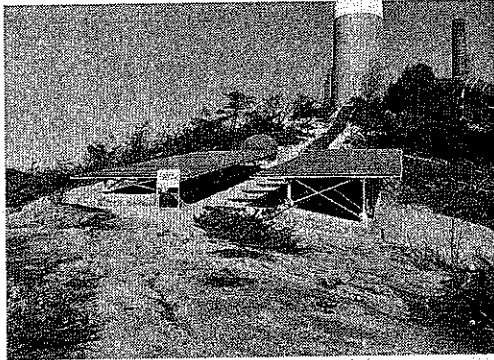
#### 11年度は実績3倍以上目標

同社が太陽光発電事業に乗り出したのは09年10月。一戸建て住宅を対象に取り組みはじめ、昨年7月にエネルギーFCONラー部を立ち上げたのを機に、公共・産業分野への参入も視野に入れた本格活動をスタートした。

また、集合住宅では、JXグループが展開する「戸別」の太陽光発電システムも提供。NIPPOが展開するマンション開発事業にも取り入れ、環境性能の高い居住の実現に貢献していく。

舗装工事を主力とする長年の事業展開で培った土木技術を生かした取り組みでは、例えば山岳のり面など、建築工事の技術だけでは対応できない箇所への導入もサポートしていく。

JXグループ全体で進めている太陽光発電事業について、同社が持っている高い技術力、施工力で、顧客のさまざまなニーズを取り込めるように担当活動を展開する一方、舗装工事の現場事務所などへの導入を通じ



土木技術を生かして山岳のり面にも設置 (写真はパンパシフィック・カッパー日比製煉所)

事業展開にあたって一戸建て住宅向けには、メーカーが用意するシステム機器用の保証書とは別に、設置工事に関する10年保証書を発行。設置ミスで雨漏りなどが発生した場合の補償にも万全の体制を敷くことで、顧客への安心安全を提供す

また、舗装工事を主力とする長年の事業展開で培った土木技術を生かした取り組みでは、例えば山岳のり面など、建築工事の技術だけでは対応できない箇所への導入もサポートしていく。